

## 知事コメント

令和4年7月28日(木)

沖縄県では7月26日に過去最多となる、新規陽性者数5,622人が確認されるなど、引き続き、感染拡大が続いています。年齢階級別では、10代、10歳未満以外にも、30代、40代や高齢者層でも感染が広がっています。本日時点の療養者は39,716人そのうち、自宅療養者は32,667人となっております。

感染拡大に伴う入院患者の増加により、県全体における病床使用率は80%を超えるなど高い水準で推移しており、特に、沖縄本島では90%を超えるなど、医療提供体制は非常に厳しい状況となっております。

そのため、沖縄県では医療非常事態宣言を発令するとともに、7月24日に医療フェーズをこれまでの「5」から「緊急フェーズ1」へと引き上げたところです。

緊急フェーズへの引き上げにより、各医療機関は診療継続計画（BCP）を発動し、一般病床に制限をかけかつ院内の人員体制を集約させる等、コロナ病床を確保することとなります。

すなわち、私たち県民が、コロナ以外の医療、例えば、心臓発作や脳卒中、ケガなどの疾患で病院に運ばれても、すぐには入院できない、あるいは、予定していた検査や手術が延期される事が想定されるほど、医療ひっ迫が進んでいることを意味します。

このような状況は、私たち県民だけではなく、沖縄へ来訪される皆さまも同様であることを、どうぞご理解ください。

県民の皆さまには「沖縄県医療非常事態宣言」において、次の3つのお願いをしています。

- ① 咳、のどの痛み、発熱等の症状を認める際は外出せず、7日間は高齢者等の重症化リスクの高い方と会うのは控えること
- ② 軽症の場合や検査目的の救急病院受診は控えること

- ③ 今一度、ご自身の感染対策を見直し、屋内ではマスク着用、密集を避け、換気をする事

以上の点について、徹底して実践いただくようあらためてお願いします。また、医療の最前線で尽力されている医療従事者の皆さま、厳しい現場での業務、本当にありがとうございます。

そして、来訪者の皆さまにおいては、持病のある方は、旅行中無理せず体調管理を心がけ、薬を多めに持参してください。また、ワクチン接種を最新の状態にするか、事前にPCR等検査の受検をお願いします。

本日の対策本部会議においては、次の点について報告、確認事項がありましたのでお伝えします。

1つ目は、看護師の確保についてです。入院待機ステーションの拡充を図り、入院調整を円滑に行うため、国と調整し、応援看護師を派遣頂くこととなっております。

また、県看護協会や全国知事会を通して、応援看護師募集を行っており、これらの看護師を重点医療機関へ派遣することにより、医療機関の負担軽減に努めていきます。

2つ目は、保育所における待機期間についてです。保育所等内で陽性者と接触した場合、県では保育PCR検査等を受検していただき、結果判明まで待機を推奨してきましたが、陽性者の急増に伴い、保育PCR検査に一部遅れが出ており、待機期間が長くなる可能性があります。そのため、症状がなければ検査結果を待たずに、登園可能とする方向で調整しています。なお、来週はじめ頃には具体的に発出したいと思います。

3つ目は、濃厚接触者に関する対応です。国事務連絡により、濃厚接触者の待機期間がこれまでの7日間から5日間に短縮されました。現在、保健所による濃厚接触者の特定は、家庭や医療機関、高齢者施設等でのみ行っており、7月22日から適用しております。

その他の事業所や学校、保育所等では、濃厚接触者の特定は行われておりませんが、マスク外すなどの感染対策なしで会食をしたメンバーから陽性者が確認された場合、同席された方は濃厚接触者に相当すると考えられるため、最終接触から5日間は外出等の行動を自粛していただくようお願いします。

また、症状を認めた場合には、医療用抗原定性検査キットでの検査等を実施してください。

8月末までを「沖縄県ワクチン3・4回目接種推進期間」として、市町村と連携して取り組んでいるところです。

3回目接種については、59歳以下の接種対象者の60%以上、4回目接種については、60歳以上の対象者の80%以上の接種率を目標としております。推進期間中にワクチン接種を最新の状態にするようお願いします。

重症化を防ぐ4回目のワクチンを接種する前に感染拡大に見舞われ、施設において入所者または職員が陽性となった施設は211箇所となり、1,505名の方が施設内での療養を余儀なくされています。これらの施設では、酸素配管や痰の吸引の設備もなく、何よりもコロナの治療や看護の経験のない職員の方が、自らの感染対策にも気をつけながら、入所者の介護に従事していただいております。

県としては施設に医師や看護師、看護補助職員等を派遣し、現場の職員とともに施設内で感染者のケアや職員のサポートを行っておりますが、急激な感染拡大に対して実際には追いついていない部分もあるため、引き続きコロナ本部施設支援チームの体制強化及び施設を支援して頂く医師や看護師等のスタッフの確保のため、関係機関等と連携していきたいと思っております。

県民の皆さまにおいては、こうした厳しい状況で懸命に働いている職員がいることを是非ご理解ください。

現在、県内ではいつどこで、誰が感染してもおかしくない状況にあること、また、一般医療を含めた救急医療が制限された状態にあることを、強く認識してください。

その上で、あらためて、基本的な感染対策の徹底やワクチン接種を最新の状態にする等、今、私たち一人一人にできる対策を実行して頂くようお願いします。

